

佐倉市議会だより



2021年11月1日
(令和3年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



かならず当たる!

市内飲食店を支援するための消費喚起事業の実施(スクラッチカード)
— 議案第10号 一般会計補正予算から —

8月定例会

会期 8月23日～9月21日

令和2年度歳入歳出決算を認定
令和3年度補正予算
手数料条例の改正議案など
35議案を可決・同意

令和3年2月定例会の「新型コロナウイルス感染症対策の一層の拡充を求める決議」を受け、政務活動費の一部返納や常任委員会等の視察中止など議会費の削減を財源として予算計上された事業です。

佐倉市議会は、8月23日から9月21日までの30日間にわたり、令和3年8月定例会を開催しました。
今定例会では、「令和2年度佐倉市一般会計歳入歳出決算」、「令和3年度佐倉市一般会計補正予算」、「佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」、「佐倉市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について」など議案35件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決、認定または同意しました。(※議案の詳細は、5ページ「主な議案の概要」)
請願・陳情については、「水道料金値上げ、及び生活保護世帯への上下水道基本料金免除制度廃止の中止を求める請願」など3件、議員提出議案については、「出産育児一時金の増額を求める意見書」など10件がそれぞれ提出され、審議しました。
また一般質問には各会派の代表質問に6人、個人質問に4人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

決算審査特別委員会を設置

決算審査特別委員会での意見・要望

令和2年度の各会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置しました。同委員会は、4日間にわたり、担当部課長などから説明を受け、慎重に審査を行いました。定例会最終日には、委員長から審査結果報告があり、次の5点について要望しました。

- ① 実質単年度収支は5年ぶりに黒字となったが、危機的な財政状況であることに変わりはない。行財政改革等による経費縮減はもとより、自主財源の確保に努め、財政健全化に努めていただきたい。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が縮小、中止を余儀なくされたと認識しているが、ウィズコロナを見据え、必要な事業の質を高め、継続、再開できるよう引き続き尽力願いたい。
- ③ 令和2年度の主査相当職昇任試験の受験率は、主任主事相当職昇任試験と比較すると、極めて低い状況であるが、職員が切磋琢磨し、向上心を持つことが、組織力の向上につながるものと捉えている。今後、昇進に対して前向きな職場風土の醸成に努めていただきたい。
- ④ 今後さらなる少子化が見込まれるが、将来を見据えた公共施設の在り方を検討する中で、児童生徒が学習する上での適正規模を勘案しながら、教育施設の再配置などについても慎重に検討を進めていただきたい。
- ⑤ 行政情報化推進事業については、今後も行政事務の効率化、職員の事務負担の軽減など新しい生活様式、働き方改革に資するための取り組みを進めていただきたい。また、今後の行政サービスのデジタル化においては、市民が利用しやすい環境の整備に努めていただきたい。



決算審査特別委員会委員 (○委員長 ○副委員長)
押木孝和、斎藤明美、岡野敦、宇田実生子、密本成章、石井秀明
萩原陽子、岡村芳樹、◎島田浩、◎徳永由美子、五十嵐智美、敷根文裕



令和2年度 会計別決算の状況

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
① 一般会計	717億1,818万5,666円	689億6,413万1,359円	27億5,405万4,307円
② 国民健康保険	170億 828万2,754円	170億 602万4,668円	225万8,086円
③ 公共用地取得事業	346万2,529円	346万2,529円	0円
④ 農業集落排水事業	1,684万 450円	1,684万 450円	0円
⑤ 介護保険	125億5,178万7,400円	125億2,960万2,799円	2,218万4,601円
⑥ 災害共済事業	1,759万4,017円	1,444万2,432円	315万1,585円
⑦ 後期高齢者医療	27億1,318万5,595円	27億 823万7,495円	494万8,100円
会計名	事業収益決算額	事業費用決算額	純利益
⑧ 水道事業	38億3,858万9,860円	36億6,082万8,029円	1億7,776万1,831円
⑨ 下水道事業	38億1,290万1,853円	33億2,938万1,928円	4億8,351万9,925円

目次

- 本会議・決算審査の概要 1
- 一般質問 2～5
- 11月定例会の予定 5
- 主な議案の概要 5
- 議案賛否一覧 6
- 議案に対する会派等の意見 7
- 委員会報告 8

市政に関する

一般質問

8月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、8月30日から9月2日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（11月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（11月中旬配信予定）からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問 通告要旨

代表質問 ※は持ち時間40分、それ以外は20分。（ ）内は会派名。

- 代表質問
為田浩 (さくら会)
山本英司 (自由民主さくら)
綱田達子 (公明党)
松島梢 (市民ネットワーク)
萩原陽子 (日本共産党)
藤崎良次 (ひまわり会と市民オンブズマン)

個人質問

- 個人質問
玉城清剛
稲田敏昭
五十嵐智美 (市民ネットワーク)
川口絵未 (市民ネットワーク)

上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



令和2年度決算について

令和2年度の佐倉市一般会計決算では、経常収支比率が前年度比1.1ポイント改善し、実質単年度収支で約4千万円、実に5年ぶりの黒字になった。市長はどう評価しているか伺う。

登下校時における児童生徒の安全確保について

市ではどのように取り組んでいるか。今後どのような対応、対策を考えているか。

通学路巡回、下校時のパトロールなどを毎日実施している。今年度は、通学路危険箇所20か所の緊急合同点検を実施。確認後、歩道整備や横断歩道設置等を関係機関等へ要望する。今後、登下校時の見守り活動を強化し、学校からの整備要望や「佐倉市通学路交通安全プログラム」に沿った通学路点検を行う。

防災専門官の配置について

危機管理課に「防災官」が配置されたが、配置に至った経緯、背景や理由と、期待する効果について伺う。

市民の生命、財産を守るための防災対策は、重要な施策の一つであると考え、さらなる強化のため、千葉県での在籍経験者を5月から配置した。災害から市民の生命と財産を守るとともに、大規模災害が発生した際、市民生活の早期回復に寄与するものと考えている。

大規模盛土造成地に対する市の対応について

宅地開発の切土、盛土を伴う造成工事に対する市の許可基準について伺う。

開発許可申請の審査において、法令等の基準に従い、土砂流出を防止するために設置する擁壁の構造や、雨水流出を抑制する貯留施設などについて、適否を判断している。また、工事完了後に検査を行い、適合の場合には検査済証を交付する。来年4月からの家庭ごみの収集方法の変更

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

三 うめたてごみの第5木曜日収集を廃止。

市民生活に非常に密接に関わるごみ収集について、変更経緯、市民負担やメリットなど、具体的な内容は、市民意識調査などを踏まえ、利便性向上、リサイクル推進、分別徹底と減量化を推進するため、実施するもの。変更点は3点。

ペットボトルは、21か所の拠点回収から約3600か所の集積所収集に変更。市内全域を網羅し、大幅な利便性向上とリサイクル推進が図れる。

指定ごみ袋のサイズ変更。もやせるごみのうち、20リットルを15リットルに変更。ビンとカンには、15リットルを追加。単身世帯の増加や高齢化などで、小さい袋の要望が多いことを踏まえた。

する不当な偏見や差別について正しく理解させ、児童生徒が適切な行動が取れるよう、現在指導している。

問 ワクチン接種2回終了後に感染する「ブレイクスルー感染」の防止対策は。

答 ワクチン接種後も、マスクや手指の消毒、外出自粛など徹底するよう、「こ

うほう佐倉」や市ホームページを通して周知している。

問 接種会場に来ることができない方を対象とした訪問接種の申込み状況や実施実績について伺う。

答 現在の申込み人数は5人。そのうち3人が2回目の接種を完了している。

問 ワクチンパスポートは、海外渡航先での隔離措置が免除されることもあり、海外ビジネスを回復させるためにも欠かせない。7月26日から始まった申請の交付実績を伺う。

答 現在、248人に交付。上別所に放置されている産業廃棄物問題

問 現状と現在の市の対応を伺う。

答 現状に変化はない。市では道路沿いにバリケードを設置し、県は監視カメラ

による監視を行い、県と市が連携しながら毎日現場パトロールを実施している。

問 市長の考えと今後の対応を伺う。

答 廃棄物の不適正処理によって生活環境に悪影響を

及ぼすことがないよう、日頃から地域の皆さんの連絡や協力が重要であると考える。上別所の対応については、県議会の経験を生かし、千葉県環境生活部長に直接会って要望した。



公明党 鍋田達子

問 市内で出産予定の妊婦及び配偶者・パートナーへのワクチン接種予約を伺う。

答 約500人の対象者に案内を送付し受付けている。

問 コロナ禍で心身に不調を訴える方への、メンタルヘルスの取り組みを伺う。

答 ウェブ講演会や広報番組・HP等で心の健康相談を啓発し相談先を紹介した。

問 こころの体温計について

答 公明党が以前から提案している「こころの体温計」は、鬱病の早期発見・早期治療に有効であり、早期に導入すべき。考えを伺う。

問 心の不調に対し、自らの早期の気づきを促すことが重要。「こころの体温計」を含め、コスト面等も勘案し、導入を検討する。

交通安全対策について

問 公明党は「児童生徒の登下校時の安全対策に関する緊急要望書」を提出。具体的対応を伺う。

答 8月4日、5日に佐倉警察署等関係機関で緊急合同点検を実施。「歩道の整

備や横断歩道の設置等」早急な改善を強く要望した。引き続き、子どもたちの安全確保に努めていく。

問 危険箇所へのグリーンベルトの設置は、ドライブパ

ーに通学路を認識させ、速度を抑制し接触事故を防ぐのに大変有効と考える。設置の考えについて伺う。

答 通学路の安全対策として、迅速に対応できる方法の一つである。各小学校から受理した危険箇所や点検結果を基に設置を検討する。

問 バス停留所安全確保対策で、コミュニティバス岩名飯野入口バス停を伺う。

答 関係機関と協議し、今年度停留所の移設を目指す。持続可能で良好な生活環境

産業廃棄物の不法投棄問題

問 上別所にて、産業廃棄物が適正処理されず野積み

にされる問題が発生した。今後市の対応について伺う。

答 現在県は撤去に向け排出元の特定を進めており、県と連携・協力し対応する。

この問題の背景とSDGsを踏まえた対策について

問 マスコミで取り上げられ

るが、廃棄物を放置した原因者に責任があることは言うまでもないが、課題の根本的解決策として、佐倉市第5次総合計画に盛り込んだSDGsの推進や資源循環型社会の構築が必要。来年度環境省・経済産業省が

プラスチック製品の使用削減を義務づける。SDGsの目標に貢献できるもの

を期待する。大量生産・大量消費型社会から資源循環型社会の移行が重要と考える

が、廃棄物の抑制策を伺う。

答 将来的に持続可能な世界を維持するため、ご指摘のように大量生産・大量消費型社会から資源循環型社会へ転換し、一層環境や社会に配慮した廃棄物の適正処理が不可欠な課題。国・地方公共団体・事業者及び国民全体で取り組む必要がある。一般廃棄物処理基本計画を踏まえた施策として、来年度からペットボトルの集積所収集を実施する。

市民ネットワーク

問 コロナ感染者の自宅療養

問 保健所の逼迫で放置されている自宅療養者について、市が支援できるような県に何か要望しているか。

答 既に印旛郡9市町で保健所人員確保等の要望書を提出。市職員2名を派遣中。

問 感染者の症状や生活状況等詳細を把握しているか。

答 県の公表情報以外は把握できない。昨年8月に9市町合同で情報共有の徹底について要望書を提出した。

問 医師会と連携し自宅療養者の往診はできないのか。

答 県が調査をしている。他自治体に倣い市独自

の食品の配食サービスやパルスオキシメーター配付等の感染者支援を要望する。

問 学校のコロナ対策について

問 感染拡大に対し学校でどのような対策をするのか。

答 健康観察の徹底、授業時間短縮、部活動の停止等。学校の実情に合わせたオンライン授業も進めていく。

問 各家庭は自主休校するか悩んでいる。自主休校に

対してのオンライン対応は。

答 学習進度に支障のない範囲で個別に対応したい。

問 8月、文科相から中学校に抗原検査キットを配布し、保健室で検査する、各学校で濃厚接触者を特定する指針を策定する考えが示された。市の方針は。

答 抗原検査キットは教職員が使用することを想定している。子どもが体調不良の場合は、保護者に連絡し、医療機関を受診してもらう。

問 給食後の歯磨きをしてほしいといった声がある。

答 密集や飛沫の飛散等を考慮し各学校が判断する。

日本共産党 萩原陽子

新型コロナ対策の現状

問 今まで市が行った独自の感染対策の内容を伺う。

問 PCR検査の目的は無症状の感染者を見つけること。市はどんな場合に検査を行っているか。

答 発熱等の症状があった場合、医師の判断で行う。

問 共産党は県に大規模な医療施設の開設を要請しているが市内の医療資源について把握しているか。

答 市内のコロナ感染者用病床数は公表されていない。

問 自宅療養者に対する生活支援など対策が必要ではないか。

答 保健所と情報を共有しなければ実現できない。

上別所の産廃対応について

問 県に任せるしかないという市の判断だが、止める手立てはなかったか。

答 産廃の所管は県なので対応を任せている。

問 不法な搬入を防ぐため県条例改正の要請をすべき。

答 法に基づき県が対応中。条例改正要請の必要は無い。

佐倉図書館建て替えの問題

問 換気能力はコロナ後に変更したか。



ひまわり会と市民 オンフスマン 藤崎良次

コロナ対策の臨時医療施設
問 コロナウイルス感染者用の市内病床数、占有率は。
答 病床数の市町村ごとの数は公表されてない。

問 自宅等での療養者数は。
答 市内自宅療養者は、8月26日現在170人。県のHPでは、ホテル療養者用客室は県内に1012室あり、8月25日現在の宿泊者は419人。佐倉市内のデータは公表されていない。

問 体育館等に臨時医療施設をつくって、県の要請があつたらすぐ対応できる準備をするのが良いか。
答 必要に応じて、県に協力したい。

問 ぜひ県の要請前に準備をし、要請が出たら即対応として頂きたい。
答 消防団員への出勤費により、佐倉市が差金を得ているか

問 市の災害対策として、消防団は非常に大切であり、各団員はご苦労が多く、お礼申し上げたい。消防団員報酬は出勤費を含め、1人当たり年額約6万6千円程度と理解してよいか。
答 今年度当初予算における報酬のみではそのとおり。

問 消防団員報酬は、出勤費が少ない。1人1回当たり出勤費は、国の地方交付税算入額で7千円だが、佐倉市支給額は1500円、

5500円も低い。この5500円は、消防団を活用し佐倉市が差金を得ているのではないか。出勤費に年間1832万円支出だが、7千円計算では、8549万円になる。6717万円もアップする。28年以上前に決定の出勤費を市は改善するか。町内会等の寄附金が消防団には提供されているが寄附金に穴埋めを考えているのか。
答 町内会等の寄附金で穴埋めをする考えはない。

問 あたかも差金が生じて、それを市の財源にしているように見える。是非見直しして欲しい。市長の考えは。
答 28年間見直しをされてないことに鑑み、よく内部で話し合い検討したい。

問 町内会等の寄附金を受け取ることは適切か。市で出勤費を適正支出すべきだ。
答 消防団員は、特別職非常勤職員であり、地方財政法第4条の5においては割当的寄附金等の禁止が規定をされている。

問 新潟県糸魚川市の市長選挙にて同市の選挙管理委員会とは異様に刑事告発した。佐倉市選挙管理委員会は、同様の事件が発生した場合にやはり刑事告発するか。
答 刑事訴訟法第239条第2項は「官吏又は公吏は、その職務を行うことにより犯罪があると思量するとき

は、告発をしなければならぬ」と規定。同様の違反発生の際には告発すべきと考えている。

問 公職選挙法違反に関する。軽い重いはあるか。
答 軽い重いは、選挙管理委員会事務局で判断をすべきことではない。

問 違反を確認できたときは、刑事訴訟法239条第2項に従って行動するのか。
答 そのとおりである。

個人質問
環境保全について
問 県は「第10次千葉県廃棄物処理計画」を策定し、食品ロス削減やプラスチックごみの循環利用を重点実施とした。市も「ゼロカーボンシティ宣言」を発表。要である「清掃組合」の焼却施設と粗大ごみ処理施設の概略説明と今後の設備の延命化対策について伺う。
答 焼却施設は、1日の処理能力100トンが2基と、60トンが1基で稼働している。粗大ごみ処理施設は可燃物と金属類を選別し、5時間50トン処理。当該施設は、計画的に整備点検を実施して、令和15年度までの延命化を図っている。



玉城清剛

問 最終処分場は、今後全国的にも社会問題になる。処分場の寿命と延命対策及び環境対策についても伺う。
答 焼却灰の再資源化や不燃ごみの選別を徹底する事で令和12年度でも十分余裕環境保全対策は、飛散防止や地盤の安定、浸出液の化学処理等を実施して対応。

問 廃棄物の分別処理は循環型社会構築には重要である。市では、7種類の分別を奨励しているが、それぞれの処分方法について伺う。
答 もやせるごみは焼却処理し余熱を活用した電力は売電している。ごみ選別後、金属類は売却、ビン類は建築資材等に再生利用。プラスチック容器包装は業者に委託。

問 埋立てごみはガラクタの山。選別作業に作業員が苦勞している。回収方法について市の見解を伺う。
答 埋立て量削減等の観点から手選別処理が必要。市民へのルールの周知を図る。

問 菅首相が10月から11月の早い段階でワクチン接種は終わると発言。見通しは。
答 全ての年代で予約できるようにになった。今後も円滑に接種できるように努めていく。見通しについては、供給量が安定的でなく、現段階では申し上げられない。

問 入院調整中等が多くなっているが、これは自宅療養か。
答 受入先の病院を調整している状態の方。

問 どこで調整しているか。
答 自宅になる。

問 市独自の対策や県、国にどういった対策を求めらるか。
答 業務が逼迫している保健所に職員を派遣、既に県には印旛郡9市町の連名で療養施設の確保等を要望。

問 コロナ禍の中、不要不急の外出自粛で家にいる機会が増え、熱中症のリスクがある。エアコンの買い替えや修理代は補助対象か。
答 対象となっていない。

問 通学路について
問 八街市の市道で下校中の小学生児童5名が事故で死傷した。緊急点検をどのような体制で調査し、その結果はどうだったか。
答 通学路の危険箇所は、各学校で職員・保護者・スクールガードボランティア等から情報を得て調査した。78か所の危険箇所があり、そのうちの緊急性のある20か所は関係機関と点検した。

問 危険箇所についてどのように対応していくか。
答 迅速に対応可能な対策を検討し、早期に整備が実施できるように取り組む。

問 国民健康保険の現状と課題
問 保険税を滞納すると資格が交付され医療費が全額自己負担となる。医療機関にかかることを我慢し重症化につながることも。八千代市の滞納世帯等は当市とはほぼ同じだが、資格証発行は半分以下。個別訪問でのきめ細かい対応の結果と考える。発行抑制のため同様の対応が必要ではないか。
答 コロナで難しい状況だが、原則臨戸訪問は実施。

問 来年度から未就学児の均等割を5割軽減する法改正があつたが、独自に高校生まで減免する自治体もある。当市でも独自減免の実施を提案するが、どうか。
答 国の枠組みで対応する。

問 市の大規模盛土造成地の第2次スクリーニング計画作成は今年度予算がつかず来年度に完成予定だが、7月熱海では甚大な土砂災害が発生しており、補正予算で早急な対応をすべき。
答 緊急対策を要する場所は確認されていない。現在事前調査に係る場所選定や手法の精査等を進めている。

問 福祉避難所は指定避難所で生活が難しい高齢者や障がい者が利用する施設。協定締結した施設の一覧表等をHPで公表するべき。
答 福祉避難所の在り方の見直しの中で検討する。

問 障がい者の就労支援
問 就労は社会参加や生きがいづくりにつながる。企業からの雇用の相談対応や

問 市民ネットワーク
問 国民健康保険の現状と課題
問 保険税を滞納すると資格が交付され医療費が全額自己負担となる。医療機関にかかることを我慢し重症化につながることも。八千代市の滞納世帯等は当市とはほぼ同じだが、資格証発行は半分以下。個別訪問でのきめ細かい対応の結果と考える。発行抑制のため同様の対応が必要ではないか。
答 コロナで難しい状況だが、原則臨戸訪問は実施。

問 来年度から未就学児の均等割を5割軽減する法改正があつたが、独自に高校生まで減免する自治体もある。当市でも独自減免の実施を提案するが、どうか。
答 国の枠組みで対応する。

問 市の大規模盛土造成地の第2次スクリーニング計画作成は今年度予算がつかず来年度に完成予定だが、7月熱海では甚大な土砂災害が発生しており、補正予算で早急な対応をすべき。
答 緊急対策を要する場所は確認されていない。現在事前調査に係る場所選定や手法の精査等を進めている。

問 福祉避難所は指定避難所で生活が難しい高齢者や障がい者が利用する施設。協定締結した施設の一覧表等をHPで公表するべき。
答 福祉避難所の在り方の見直しの中で検討する。

問 障がい者の就労支援
問 就労は社会参加や生きがいづくりにつながる。企業からの雇用の相談対応や





川口 絵未
市民ネットワーク

産業振興課との連携は。支援者養成講座等の情報提供を実施。関係課とは表彰制度等の検討を進める。

安全な通学路の整備を

6月28日八街市で登下校の児童の列に飲酒運転の大型トラックが突っ込む死傷事故が起きた。佐倉市での緊急一斉点検の対象20か所はどのように選定したか。

文科省の観点から、抜け道、速度が上がりやすい道路、過去にヒヤリ・ハットがあった等を中心に点検。

保護者が見つけた通学路の危険箇所はもっと多い。学校ホームページで公開を。

緊急点検20か所は公開、その他の箇所は保護者や地域の方と見守りする、情報媒体でお知らせする予定。

裏新町の自治会からの朝スクールゾーンにする要望は警察から却下された後、市は指定へ向け対応したか。

特に対応していない。難しい状況だが、子ども達のため改善していきたい。

男女別の制服でなく、私服や、スカート・スラックスを選べるようにしては。

現在スカートとスラックスを選べる学校もある。要望があれば対応する。

全校に拡大を。髪型の男女別の指定は必要か。

佐倉市議会ホームページもご覧ください



議会ホームページ
二次元コード

各検索サイトからは「佐倉市議会」を検索

- 本会議や常任委員会等委員会の会議録が検索できます。平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。
●本会議の様子は、ライブ中継（開催時間中）・録画中継（開催日のおおむね1週間後から）で視聴できます。
●政務活動費のページを更新しました。政務活動費の支出の根拠に加え、取扱基準や経費の範囲の説明、平成29年分からは収支報告書とあわせて領収書を公開しています。

悩みがある生徒には個別に対応する。文科省は、きまりについては生徒が主体的に考えるよう指導することが大切としているが、変更手順は。学級活動や生徒総会などで話し合いの場を設け改善する例がある。学校のトイレに生理用品を配置してはどうか。管理面・衛生面の課題があり、保健室で配布する。

11月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 11月16日(火)
◆招集日 11月22日(月) 午後1時から
◆一般質問 11月29日(月)～12月2日(木)
◆常任委員会 12月6日(月)～12月9日(木)
◆最終日 12月13日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 ☎043-484-6254

－本会議の映像－

(招集日・一般質問・最終日)

■インターネット中継：開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

■CATV放映：開催日翌日午後5時30分から放送。

【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

用語解説

※「ブレイクスルー感染」

ワクチンを接種後に感染する事例が報告されており、新型コロナウイルスワクチンの場合では、2回目の接種を受けてから2週間程度で十分な免疫の獲得が期待されるので、それ以降に感染した場合を、ブレイクスルー（打ち破り）感染と呼んでいる。

主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号～第9号は令和2年度の一一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算の認定、議案第10号～第13号は令和3年度の各会計の補正予算、議案第14号～第33号は条例の制定、議案第34号は訴えの提起、議案第35号は教育委員会委員の任命に関する議案です。（議案第1号～第9号までの概要は1ページに記載しています。）

【議案第10号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ15億2737万8千円を増額するもので、補正後の予算総額は、493億8536万3千円。

主な歳入は、地方交付税、国庫支出金、県支出金、繰越金及び市債などの増額、並びに繰入金金の減額。

主な歳出は、繰越金の財政調整基金への積み立て、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業、学童保育所管理運営費、学校行事中止等に係る経費補助事業など新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費などの増額、新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等に伴う事業費の減額。

なお、令和3年2月定例会における「新型コロナウイルス感染症対策の一層の拡充を求める決議」を受け、飲食店等の経営継続に資するため、市内消費喚起事業を計上。

債務負担行為の補正は、都市計画道路及び幹線道路整備計画策定支援業務委託（令和3年度期間延長分）ほか3件を追加。

地方債の補正は、臨時財政対策債の変更。

【議案第15号～第18号まで、議案第21号～第26号、議案第28号、議案第29号、議案第31号及び議案第32号】

「佐倉市使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に基づく手数料等の見直しを主な内容とするもの。

【議案第15号】 納税証明書の交付手数料の額の改定。

【議案第16号】 手数料の額の改定等。

【議案第17号】 コミュニティセンターの使用料の額の改定。

【議案第18号】 消費生活センターの使用料の額の改定。

【議案第21号】 公民館の使用料の額の改定等。

【議案第22号】 美術館の使用料等の額の改定等。

【議案第23号】 市民音楽ホールの使用料の額の改定等。

【議案第24号】 旧堀田邸等の入館料等の額の改定。

【議案第25号】 佐倉草ひえの丘の使用料の額の改定等。

【議案第26号】 農村集会所の使用料の額の改定。

【議案第28号】 一般廃棄物処理手数料の額の改定。

【議案第29号】 都市公園法の改正による公園施設の新設又は管理を行うことが出来る者を公募により決定する制度の新設を踏まえ、公募対象公園施設を設ける場合における建蔽率の特例に係る規定の整備等。

【議案第31号】 水道料金及び手数料の額の改定等。

【議案第32号】 指定工事店の指定に係る手数料等の改定。

【議案第33号 佐倉都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び佐倉市公共下水道事業受益者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定】

公の生活扶助を受けている受益者等を受益者負担金等の減免の対象から除外するもの。

議案を解説！

●手数料等の見直し：

「佐倉市使用料・手数料の見直しに関する基本方針」(平成29年4月策定)とは…

「行政サービスにどのくらいのコストがかかっているのか」を明らかにした上で、「受益者負担」と「公費負担」の割合を明確にするための市の統一的な考え方

【議案第15～18、21～26、28、29、31、32号】

●新型コロナウイルスワクチン接種対策事業（約4億9千万円）

新型コロナウイルスワクチン接種を令和4年2月末まで実施するための経費

【議案第10号】

- ・ワクチン接種体制整備委託料
・集団接種会場設営・撤去委託料
・医師・看護師報酬など



●子ども支援施策推進事業（300万円）

子どもの貧困対策のため、国の「地域子供の未来応援交付金」を活用し、子どもの生活状況に関する実態調査を実施

【議案第10号】

バランスのとれた食事は給食しかない。



進学したいけれど、経済的にあきらめている。

7/10

議案に対する会派等の意見

令和2年度佐倉市一般会計、各特別会計、公営企業会計決算に賛成

私たちがさらには、各会計全般を通じ、予算の目的に沿って、適正かつ公正に執行され、その効果が得られるか、認められることから、認定すべきものと判断した。

使用料・手数料を改正する各条例案に賛成

「佐倉市使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に基づき、手数料等の改定を行うものである。

施設使用料などの受益者が限定されるサービスの手数料等について、定期的に見直しが行われることは、経済・社会情勢の変化や、サービスに要する経費の変動などに対応した適正な負担額とするために必要な措置であると考えます。

歳出では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業が縮小、中止を余儀なくされる状況下においても、ひとり親家庭等への臨時給付金、小規模事業者応援給付金等、市民、子育て世帯、事業者、医療関係者などへの幅広い支援や、小中学校福祉施設等における感染症対策などのコロナ対策事業が、遅滞なく執行されたこと、さらには、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業や、GIGAスクール構想に基づく小中学校へのタブレット整備など、未来への投資と言える取り組みも着実に推進されたものと評価する。

以上のことから、令和2年度の一般会計歳入歳出決算を認定すべきものと判断した。併せて、各特別会計、水道事業及び下水道事業会計についても、予算が目的に沿って、適正かつ公正に執行され、その効果が得られるか、認められることから、認定すべきものと判断した。

なお、生活保護世帯を対象とした減免制度の廃止については、生活保護費に光熱水費相当額が含まれていることや公平性の観点から賛成するが、新型コロナウイルス感染症のまん延による市民生活への影響が大きいため、生活保護受給者に限らず、生活に困窮する市民に対し、実情に照らし支払いを猶予するなど、きめ細やかな対応をお願いしたい。

公明党

「令和2年度 佐倉市一般会計歳入歳出決算」に賛成

議案第1号は「安全・安心を第一に住民福祉の増進と向上に努めているか」、「最少の経費で最大の効果を得られるよう合理化や適正化を図っているか」に視点を置き審査し認定した。

「令和3年度 佐倉市一般会計補正予算」に賛成

議案第10号の「子ども支援策推進事業」は「子ども子育て支援事業計画」に「子どもの貧困」を小中学生にアンケート調査し施策に活かそうとするもので、市独自の項目を関係部署が十分連携精査し、実態把握に努めるよう申し添え賛成。

「使用料・手数料の見直しに関する議案」について

「佐倉市使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に基づき4年に1度の見直しで、受益者負担の適正化や公平性の観点から賛成。なお、コスト削減に向け鋭意努力すること。市民に十分な説明責任を果たすこと。水道料金の改定について

自由民主党

議案第1号令和2年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について、以下の点を申し添え賛成。

実質単年度収支は5年ぶりの黒字となったが動きのない基金の活用、減収補てん債、事業精査、産業振興や企画政策で収入源を増やしていかねばならない。

各審議会の公募委員は18歳以上が対象のため、特に20代といった若い世代が参加できるように目標値を定めて取り組むこと。

ミレニウムの未利用スペースは民間企業等による活用の可能性も視野に入れた有効活用を進めること。

障害者雇用の企業に対する表彰制度を進めること、引き続き庁内の優先調達を増やし、障害者雇用の促進と賃金の向上に対する取組を推進すること。

使用料・手数料の見直しは今回賛成するものの、4年ごとの値上げの改正ではなく、基本方針を見直し、必要に応じて市民が納得でき

議案第31号佐倉市水道事業給水条例の一部を改正する条例について。水道施設の老朽耐震化対策に必要な費用が232億円、人口減少に伴い令和5年度には赤字形成に転じるなどから、段階的な改定が利用者にとって得策と判断し賛成。

市民ネットワーク

反対する主な理由

議案1号大型公共事業への税投入である道路建設II、31号線の用地買収、岩富・寺崎線の境界杭設置、城址公園内の土地購入、ふるさと広場拡張のための用地買収に向けた測量費。コロナ禍で税収減が分かっているにもかかわらず延期や中止等の計画見直しを行わなかった。その一方コロナ感染症防止のため独自検査拡充を求めたが、独自のPCR検査はわずか47件。市民の健康を守る姿勢が問われる。

議案10号新佐倉図書館建設工事で、民地にある擁壁の地中基礎を撤去するための追加費用の発生が判明した。

議案15号、18号、21号、26号、28号、31号、33号住民票交付等の手数料・公民館等公共施設の利用料、水道料金の値上げや生活保護減免の廃止に関わるもの。コロナの収束も見えず経済的に苦しむ市民が増えている中、市民に寄り添った市政とは言えず値上げは中止すべき。

議案第1号に、コロナ感染者援助の意見を添え賛成

ひまわり会と市民オンブズマン

現在、コロナ感染者等への市独自の援助が急務。県は個人情報保護を理由に感染者を市に連絡していない。故に市は感染者に適切に援助ができていない。感染者等からの求めや連絡に応じ、市は寄り添う援助が必要。

市長は住民票等値上げ提案

佐倉市長は住民票を始め多くの住民サービスの値上げを提案してきた。その主な理由を人件費上昇と説明。しかし、審議の過程において、人件費上昇の計算式の根拠を含め十分な資料提示、説明がなされず、反対した。

議案第1号、第10号に反対

新佐倉図書館の建て替えに約9億円を支出。地下への建設で費用が膨らみコロナ対応の換気見直しせず、市民の安全軽視の予算に反対。

水道料金、使用料手数料等を値上げする各議案に反対

H29年に策定した「使用料手数料の見直しに関する基本方針」を根拠とし、実際には上がっていない職員給与や減価償却費を値上げの理由とする計算方法は議会と市民を欺くもの。市民を受益者とし、負担の公平を押しつけることは、住民の福祉の向上を使命とする地方自治体のあり方に反する。

請願20号、陳情11号に賛成

会派に属さない議員

議席3番

コロナ禍対応の小中学校予算確保のための議員報酬の10%削減議案

佐倉市の児童生徒たちのために提案した本議案。内容は2週間前に全議員に配布されていたが、反対会派は意見なく否決。これでは世論のミスリード以前に、議論が成立していない。

議席11番

「佐倉市使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に基づいた料金見直しによる料金値上げの条例改正議案は、受益者負担率・稼働率など根拠が明確でなく、変更する可能性もある。行政サービスの市民の社会活動への参加を低下させるため反対である。

議席12番

議員発議5、6号の議席番号3番の案に賛成する。弱者保護の立場で横断歩道の歩行者優先は当然であり道交法の順守が義務である。コロナ禍で市民の生活は困窮している。議員報酬や市職員の給与は、少なくとも1割程度の削減は必要であると考える。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案13	議案14	議案15	議案16
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案17	議案18	議案19	陳情11		
可決	可決	可決	不採択		

開催日：令和3年9月6日／場所：全員協議会室

議案9件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・使用料・手数料の改正に当たっては、市民の理解が得られるよう、改正理由等の十分な説明に努めていただきたい。また、今後の改正を見据え、使用料・手数料の低廉化のため、コスト削減となるような事務改善を引き続き進めていただきたい。
- ・陳情第11号については、遺骨が含まれる土砂を埋立てに使用することは、人道的に許されないと理解しているが、沖縄県においては、厚労省と沖縄県が役割を分担し遺骨収集が進められており、法に基づき計画的かつ効率的に推進するための必要な措置は講じられていることから、意見書提出については慎重に判断せざるを得ない。

〔委員〕◎敷根文裕、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、鍋田達子、木崎俊行、高木大輔



文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案10	議案12	議案20	議案21	議案22	議案23
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案24					
可決					

開催日：令和3年9月7日／場所：全員協議会室

議案7件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・子ども支援施策推進事業における「子どもの生活状況実態調査」については、国から示されている項目だけでなく、子どもや保護者の抱える問題を正確に把握できるように、関係部署と十分に連携した上で、市独自の調査項目を精査し、「子どもの貧困対策」へとつなげていただきたい。
- ・社会教育施設や文化施設は、子供たちを含め市民が佐倉をより深く知る機会を提供し、また市のPRにも寄与することに鑑み、今後も引き続き減免や割引制度の拡充に努めていただきたい。

〔委員〕◎岡村芳樹、○徳永由美子、宇田実生子、稲田敏昭、平野裕子、石渡康郎、中村孝治



経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10	議案25	議案26	議案27	議案28
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和3年9月8日／場所：全員協議会室

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・施設の使用料及び手数料の見直しについては、市民の理解が得られるよう、分かりやすい情報の提供に努めるとともに、見直し後も引き続き利用したいと思われる魅力ある施設になるよう環境整備等に尽力していただきたい。

〔委員〕◎爲田 浩、○山本英司、高橋とみお、押木孝和、密本成章、五十嵐智美、藤崎良次



建設常任委員会

《審査結果》

議案10	議案29	議案30	議案31	議案32	議案33
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案34	請願20	陳情10			
可決	不採択	不採択			

開催日：令和3年9月9日／場所：全員協議会室

議案7件、請願1件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・水道料金改定については、社会情勢の状況等を踏まえて改定時期への配慮を要する声がある一方、老朽・耐震化対策のための財源確保は喫緊の課題であり、災害への備えを考慮すれば、値上げの先送りは責任ある対応とは言い難い。また、生活保護法により支給される生活扶助には水道料金等が含まれており、生活保護減免制度の廃止はやむを得ないものとする。世代間の負担平準化及び受益者負担の適正化は図られるべきであり、市民や企業に理解を得られるよう、引き続き丁寧な説明と周知に努めていただきたい。
- ・陳情第10号については、当該許可処分を審査過程に不備はないと認められるものの、合理性の判断は議会の権限を超えており、採択すべきではないと考える。今後とも、公園施設の目的外使用の許可にあたっては、公園本来の設置目的を損なわない範囲において、利用者や周辺住民の様々な意見を聴取し比較考量した上で、適切に対応していただきたい。

〔委員〕◎久野妙子、○斎藤明美、川口絵未、石井秀明、岡野 敦、玉城清剛、萩原陽子



新型コロナウイルス感染対策実施中 ※令和2年5月臨時会以降、感染防止対策に取り組んでいます。

社会的距離の確保

Social distance

- ・会議における密接を回避するため、執行部職員の出席を必要最低限に留めるとともに、一般質問に限り会派室視聴を認めた。
- ・飛沫の飛散を抑制するため、本会議場の議長席と演壇席の間にアクリル板を設置した。
- ・演壇席や執行部席での感染を防止するため、人が入れ替わる度に消毒を励行した。
- ・十分な距離を確保できない常任委員会においては、全ての席に間仕切りを設置した。
- ・本会議場の議席、執行部席、傍聴席を1席間隔とした。

傍聴の自粛要請

Self restraint

インターネット中継視聴の勧奨。

※背景写真は、決算審査特別委員会の審査風景です。昨年に引き続き、広い本会議場で開催しました。

会議時間の短縮

Save time

- ・一般質問の質問時間を短縮して行った。
- ・本会議における質疑、討論時間を短縮した。

なお、討論不足部分は書面配布で対応した。

議会百景

コロナ禍により、昨年に続き今年も対面での意見交換会が中止となりました。市民と議員との貴重な懇談の場であり、大変残念です。議会も傍聴自粛の呼びかけや質問・討論時間の短縮等制限された状況が続いています。インターネット中継やテレビ放送もありましたので、ぜひご覧下さい。市民の声や議会事務局にいつでもご意見をお寄せ下さい。

（広報公聴委員 松島 梢）

市民生活に大きな影響を及ぼす議案について、市議会の現場で質問も意見も出ないまま否決される議案が目立つ。過去も含め、今議会でも「市民にとって大きな影響があり、議会内で賛否が分かれる」複数の議案について、反対した議員たちの否決理由は、議会の現場では表明されていない。議会は議論を尽くす場としたい。

（広報公聴委員 高橋とみお）

今議会は、今までにない市内新型コロナウイルス感染症者数増加を受け、徹底した感染症対策の下での議会開催となりました。

3年目となりました広報公聴委員として、長期化するコロナ禍においても開かれた市議会とするために、皆さまに愛される議会だよりへのより一層の工夫、常任委員会等のインターネット中継実現のため力を尽くします。

（広報公聴委員 宇田実生子）